

ドラッグストアの動向

調剤事業に注力、シェア拡大図る

近年のドラッグストアは、生活者にとって欠かせない「健康に関する社会インフラ」としての存在感を発揮している。健康寿命が注目され、その延伸のために、治療や介護だけでなく、健康の維持・増進、予防に加え、より豊かな生活をサポートできる新たな業態としてドラッグストアが求められている。こうした時代背景を追い風に成長発展し、2018年度のドラッグストア店舗数は2万店を突破し、売上高も7兆円を超えた。

日本チェーンドラッグストア協会(JACDS)の18年度実態調査によると、店舗数は2万0228店で、売上高は7兆2744億円となった。カテゴリー別売上高シェアは、調剤・ヘルスケアが31.3%でトップとなり、フーズ・その他が26.8%で続く。なお、店舗数および売上高とも実態調査を開始して以来、18年連続でプラス成長を遂げており、特に売上高はここ3年連続で5%以上伸長している。

現在、ドラッグストア業界では、『2025年 10兆円3万店舗』を目標に掲げている。JACDSは、「地域で消費者の信頼を勝ち取り、時代の変化に対応していけば夢物語ではない」と強調。10兆円化の実現には、「近

年の売上高増を牽引する①調剤②食品③インバウンド需要のOTC・化粧品——という三つのカテゴリーをいかに拡大できるかがポイント」とする。

このうち、ドラッグストアの調剤事業は拡大が続いている。調剤店舗数は約6500店で全体の3分の1に達し、ドラッグストアの調剤医療費の合計額は約9000億円という状況。ただ、わが国の調剤医療費は約8兆円で、この数値はまだ10%強程度。“伸びしろ”は大きいと言えよう。

ドラッグストア業界では、調剤におけるシェアを25年には30~40%にまで引き上げたいという目標を持つ。JACDSも「決して不可能な数値ではない」としており、その理由に調剤マ

ーケットの特殊性を指摘。「調剤マーケットは寡占化が進んでいない現状にある。中小薬局が調剤医療費ベースで約7割を占め、薬剤師2人以下の薬局が約4割あると言われており、今後の状況次第ではM&Aなどによりドラッグストアのシェアが大きく伸びることが期待できる」としている。

一方で現在、ドラッグストアに勤務する薬剤師は約3万人。このうち調剤に従事している薬剤師は半数の約1.5万人となる。これまで、ドラッグストアの調剤拡大には薬剤師の確保が課題との見方もあったが、近年この状況は劇的に変わってきている。

▽薬剤師国家試験の合格者数は合格基準を絶対評価から相対評価に切り替えて以来安定し、毎年1万人前後を維持するようになった▽メーカーの研究職、MR職の採用を抑制している——ことなどから、ドラッグストアへの新卒薬剤師の流れが加速しつつある。こうした背景についてJACDSでは、「調剤だけでなくOTCを介した健康相談までのサービスを提供し、街の健

各業界の動向と

展望をチエツク！

関連記事2~4ページ

康ハブステーション」を標榜するドラッグストアの存在が見直されてきていることも大きい」とする。

また、今後に関しても「当面、薬学部や薬科大学の新設が続くこともあり、大手ドラッグストアを中心に、新卒薬剤師の大量採用が続く」との考えを示しており、薬科大学・薬学部との連携強化にも努めている。

医療技術の進歩は驚きの域に

こんにちは。メディセレのしゃっちゃん、児島恵美子です。皆さんは大学入試センター試験の問題を毎年見えますか？私は物理、化学、生物は見ています。なぜなら薬剤師国家試験でも物理、化学、生物があるから。時には国家試験の問題に「これセンター試験の問題じゃね？」と心の中でつっこむような問題が出題されることもあるからです。

今回のセンター試験では生物の難しさに驚きました。もうねえ、国家試験レベル。薬学生は解けないのではないかな？と思うほどの難しさでした。

メディセレでは、高校時代に物理や生物をやっていない、化学に自信がな

いという人のために、高校の物理、化学、生物の中で薬学部に必要なポイントをピックアップして橋渡しする教材「ブリッジシリーズ」を作っています。今回の試験内容を受け、教材の難度をもう少し上げたほうが良いのではと悩んでしまうほどでした。

生物の試験が難しくなるのも当然で、医療技術の進歩はもう驚きの域に達しています。先日、私が部会長を務めた、日本青年会議所医療部会の春季総会をメディセレで開催し、全国から医師、歯科医師、薬剤師、病院経営者など医療関係の経済人が集まって勉強会をしました。講師は、関西学院大学理工学部生命医化学科准教授の関由行先生。なんと薬学部出身の薬剤師です。薬学部出身者が他分野で活躍されているなんて、本当にうれしいです。

関先生のご講演内容は、再生医療から生殖医療まで網羅した、希望と夢のあるお話でした。今、夫婦の6組に1組は不妊というほど不妊が社会問題になっていますが、なんと皮膚細胞から精子や卵子を作れるところまで技術は進んでいるそうです。同性愛のカップルが自分たちの遺伝子を掛け合わせた子供を持てるようになるかもしれません。道徳的、倫理的問題があり、実現するかは分かりませんが、技術的にはそこまで到達していることに驚きました。

16年間冷凍保存されていた死んだマウスの細胞からクローンマウスを生み出したことが契機になって、技術が飛躍的に進化したとか。将来はスパイ大作戦「細胞を奪取せよ！」とかの時代になる？私の細胞、狙われる？妄想は広がります。

国試予備校の現場から



メディセレスクール
社長

児島 恵美子



よろこばれて、よろこぶ。

患者様のよろこび、スタッフのよろこび。それが、コスモファーマグループのよろこびです。
人のつながりを大切にする、ココロ通う調剤薬局です。

インターンシップ

薬局見学会

随時受付中!!

☎024-935-9750

✉contact@cosmo-ph.co.jp (担当: 佐藤・佐々木)



コスモファーマグループ

本社/〒963-8025 福島県郡山市桑野三丁目12番2号

TEL 024-935-9750 FAX 024-933-7779

http://www.cosmo-ph.co.jp/